



社員研修では、算出された適正年収をもとにキャリア開発を考える―東京都内で

研修で「適正年収」判定

日本テレコム ショック療法導入 「自覚を促す」改革

あなたの適正年収はいくら――。日本テレコムは今年度、社内研修を抜本的に見直し、社員の適正年収を算出するプログ

ラムを導入した。自分の市場価値を示し企業で生き抜くことの厳しさを伝える「ショック療法」だ。

受講者は事前に戦略立案や指導力など230の質問に答える。それをもとに民間コンサルタントが社員の適正年収を算出する。算出された年収と現状との差額をもとに、仕事や今後の人生の課題を考える。

30歳代のある男性社員は、適正年収が現状の2割減。「業界の変化が激しいので、自分の価値を

知りたかったが……」

会社は「受講は任意で、適正年収などのデータも一切把握しない。本人の自覚を促したい」（人事部）という。受講料の一部は自己負担だ。

同社は従来、語学研修など知識習得型の研修を重視していた。だが、ネットワーク社会を先取りした事業を提案するには、「プロ意識のある人材が必要」と、キャリア開発や人生設計を考える内容に改めた。コンサル

タント「市場価値測定研究所」によると、こうした研修は製造業を中心に広がっているという。